

1 イントロダクション

1-2 日本製紙グループのサステナビリティ経営

私たちの生活は、経済や技術の発展によって豊かに、便利になりましたが、資源の消費や温室効果ガスの排出、生物多様性の喪失など、地球環境への負荷は増大しており、これらの負荷を減らすことは、国際社会全体で取り組むべき喫緊の課題となっています。

当社グループは、「日本製紙グループは世界の人々の豊かな暮らしと文化の発展に貢献します」という「企業グループ理念 (MISSION)」と、これを実現するための行動指針として「目指す企業像 (VISION)」を掲げ、社会における当社グループの役割を明確化し、企業価値向上と持続可能な社会の構築をともに追求するサステナビリティ経営を推進しています。これは、国連が掲げる持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) の理念を踏襲し、地球上で生きる人々が身体的、精神的、社会的に良好で、幸福に満たされた状態であることを目指す国際社会の要請と合致するものです。

理念 MISSION

日本製紙グループは世界の人々の
豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

目指す企業像 VISION

以下の要件を満たす、社会から永続的に必要とされる企業グループ

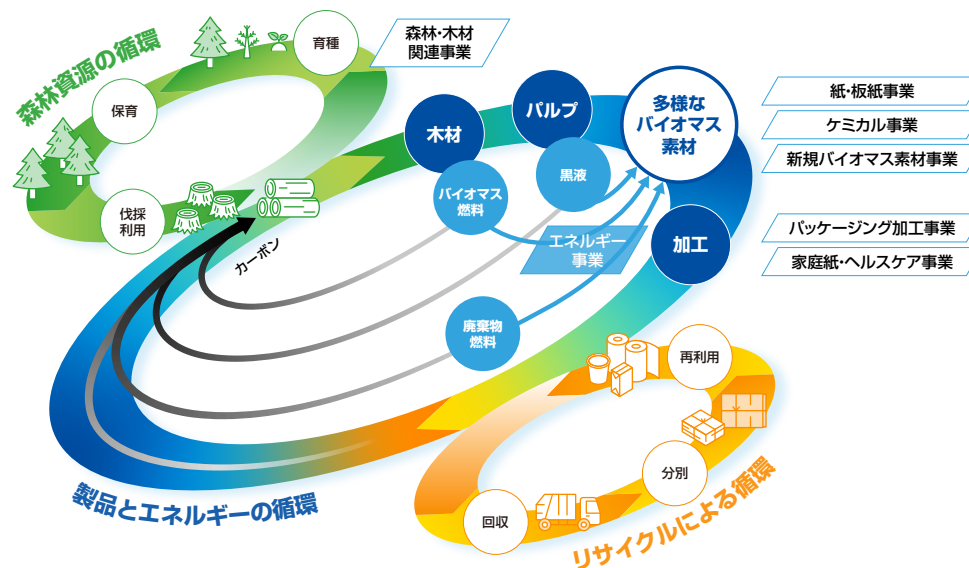
1. 事業活動を通じて持続可能な社会の構築に寄与する
2. お客様のニーズに的確に応える
3. 社員が誇りを持って明るく仕事に取り組む
4. 安定して利益を生み出し社会に還元する

当社グループは、「企業グループ理念」と「目指す企業像」に基づき、当社グループの川上から川下まですべての事業領域において、「森林資源の循環」「製品とエネルギーの循環」「リサイクルによる循環」からなる循環型事業モデル「3つの循環」を展開しています。

私たちの生活には、気候変動、気象災害の増加、世界人口の増加と資源不足、健康・福祉指向の高まりなどのさまざまな社会課題が存在していますが、「3つの循環」は、自然資本を活用する上で重要な「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」「ネイチャーポジティブ」の概念を実践できる循環型の事業モデルです。

当社グループは、未来に向かって、「3つの循環」を確実に実践していくことで、企業価値向上と持続可能な社会の構築をともに追求していきます。

循環型事業モデル「3つの循環」



→WEB 循環型事業モデル「3つの循環」

(日本製紙グループ統合報告書2026 P.15-16)

https://www.nipponpapergroup.com/csr/npg_ir_2026_15-16.pdf